

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	インターンシップB（Internship B）		
ナンバリングコード	R20302	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	4	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M006601	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、 履修条件	指導教員との面談を行い、インターンシップに必要な手続きをしっかりと行うこと。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	建築設計特論A、建築設計特論B		

○基本情報		
授業の目的	建築学の専門的知識と技術を修得し、その上でその知識と技術を社会において実践的に展開し活動する技術者である一級建築士の資格取得の要件であるインターンシップを行う。国家資格である一級建築士の資格内容に照らして、社会の中の専門技術を有した技術者として、リーダーシップ能力を発揮し、新しい社会基盤構築に寄与していく知識や技術を学ぶ。	
授業の概要	建築士資格取得に必要なインターンシップの受講要件に準じて、各建築設計事務所、建設会社にて具体的な内容が定められる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	インターンシップの受講先によって担当者が異なるが、実務経験のある技術者がインターンシップ研修を担当する。 担当者は、一級建築士事務所「後藤建築設計事務所」の所長後藤康仁氏などの有資格者とする。 学生が直接、建築設計事務所に赴き、そこで行われている建設コンサルタント業務に携わることによって、建築設計事務所を運営するための実践的な知識と技術を修得する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	学士課程で学んだ建築学の知識・技術を基盤として、実社会の実業に携わることができる。			30%
【ディプロマ・ポリシー②】	実社会のなかで起きている建築の問題に積極的に取り組み、問題解決する建築的指針を提案できる。			30%
【ディプロマ・ポリシー③】	実社会における一技術者として、新たな建築像を提案できる。			40%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

フィードバックは、適宜行います。

授業時間は、1単位:60分×2コマ×15週＝30時間とする。

